【文化と地域創生】
地域音楽コーディネーターが各拠点をつなぐ役割を担う

2025年7月6日(日)　11：20～12：20

地域音楽コーディネーター養成講座【オンライン7月】

渡辺行野
文京学院大学

【文化活動による地域創生は…】

“社会の活力を維持”し“豊か”にすることを可能にする取組み

【地域音楽コーディネーター】

・担う役割はきわめて重要
・音楽という普遍的な言語を通して、

→世代や背景を超えた人々をつなぐ
→地域コミュニティの絆を強化

社会と音楽の接点を創る

【世代や背景を超えた交流】
・社会と音楽を結びつける活動→人々の生活の質の向上
・地域社会の結束力の強化
・芸術活動→地域の活性化に不可欠な要素

【教育的な発展】
・学校のリソースと地域の文化資源を融合させる取り組みへ
・地域の連携は子どもたちに多様で豊かな芸術体験を与える
・地域住民にとっても生涯学習の機会が拡大

【文化的基盤】
・異なる背景を持つ人々に相互理解と尊重の文化を
・社会的価値を最大化←地域音楽コーディネーターの役割

文化芸術を通じた地域づくり

音楽イベントによる交流促進

文化施設を活用した活動拠点

地域経済との連携

埼玉県ふじみ野市の取組

音楽文化創造からの委託事業から始まったこと

令和5年度(2023年度) 文化庁文化部活動改革への参画

（部活動の地域移行に向けた委託実証事業）
音楽文化創造より地域文化クラブ推進事業を受託

【地域文化クラブ】
- 地域が受け皿／学校部活の地域移行
- 子どもたちに様々な体験

生涯教育に繋げたい！

地域の音楽文化の振興／生涯音楽学習へ向けて発信

運営主体

【ふじみ野市地域文化クラブ運営委員会】

地域文化クラブの果たす役割

地域文化クラブ＜活動の取組＞

◎合唱コース

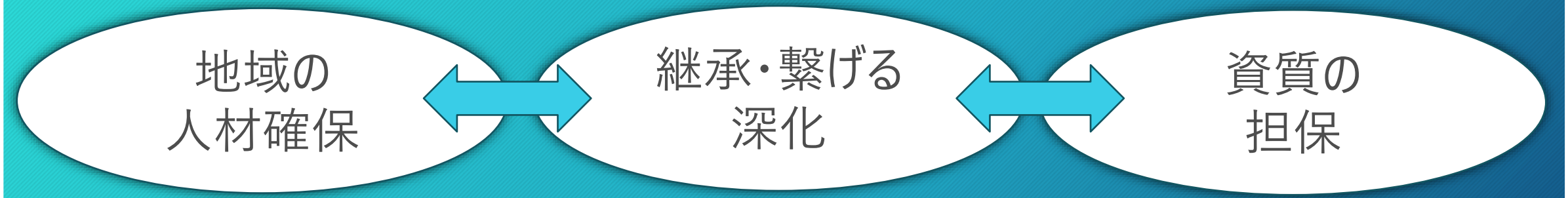
◎楽器演奏コース

学校派遣型　／文化施設会場型

“各部署をつなぐ人材”がいないといろいろ動かない・回っていかない

➡ 重要なのは　【キーパーソン／コーディネーター】

【つなぐ・キーパーソン／地域音楽コーデネーター】



ふじみ野市文化芸術企画提案型委託事業

「ステラ・ウェストホール活用プロジェクト」業務委託

ふじみ野市・文化施設指定管理者との主催

Challenge！！

アートと人
つながる・つどう

ふじみ野市の文化と芸術の更なる発展を目指す
「幅広い世代が交流」「創造性を育む場」　ステラ・ウェストホールの活用

ステラ・ウェストホール（文化施設）：「文化的コミュニケーション」の中心

→「市民が日常的に文化芸術に触れられる環境」の充実

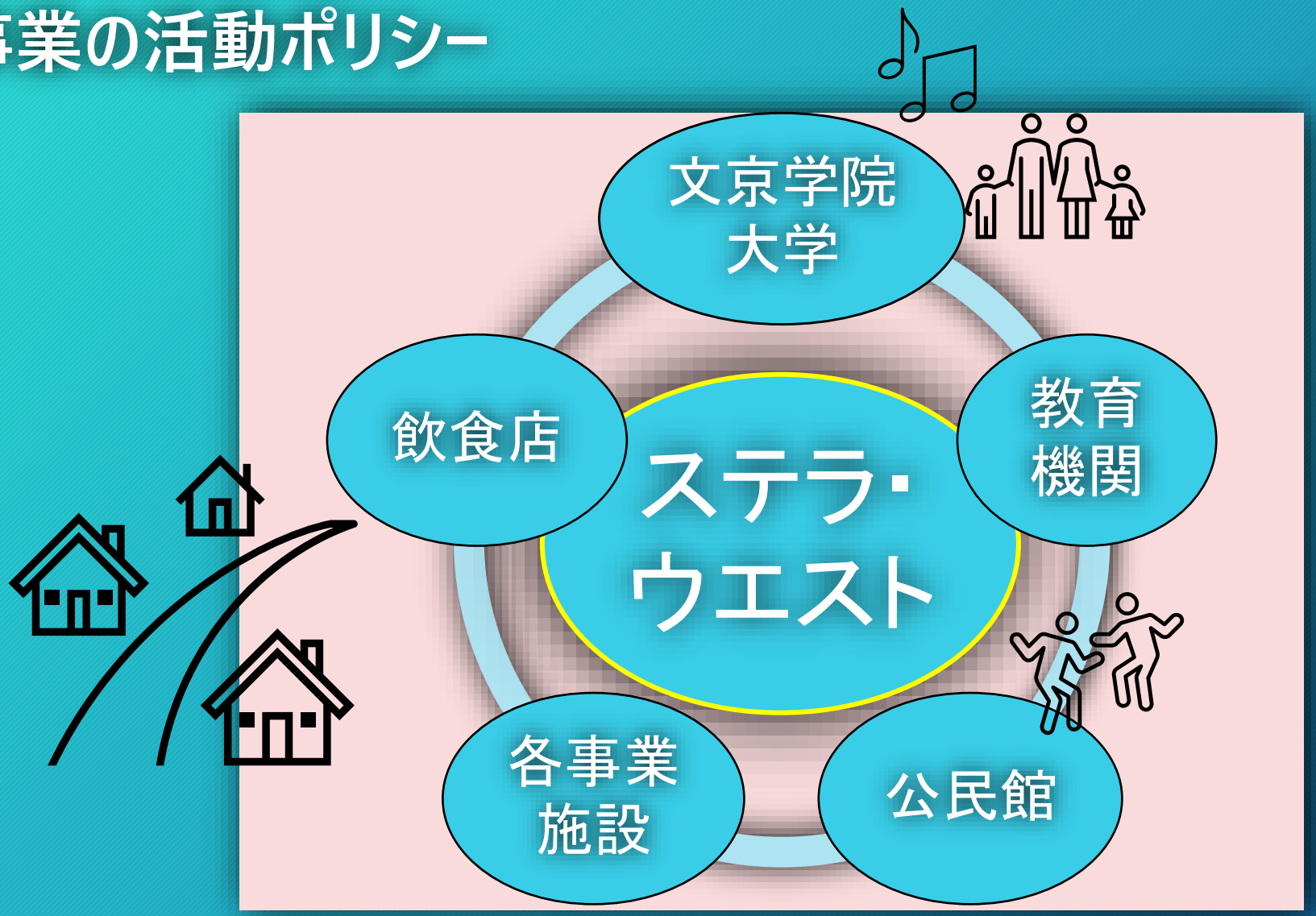
→市内の様々な文化イベントを開催を通じて培われた経験とネットワークを活かし、地域のアーティストや文化事業者と連携を深め、新たな文化の芽を育てる

文化の質の向上・・市民の文化芸術への関心の向上

➡　文化的アイデンティティの強化」

市民が「文化芸術を共有し楽しむ」ための取組みを推進

本事業の活動ポリシー



アートと人
つながる・つどう

第1回　イベント

タイトル：アートと人 つながる･つどう（第1回：2024年12月8日）
開催場所：文京学院大学ふじみ野キャンパス

実施目的：　文化芸術を媒介とした世代間交流と地域の活性化
　　文京学院大学とふじみ野市の連携により、大学構内を地域文化の発信拠点として活用

午前の部（体験型ワークショップ）

・楽器体験（ヴァイオリン、サックスなど10種類）
・吹奏楽経験者対象：プロ奏者による個別指導
・合唱ワークショップ：「群青」　練習（3月本番に向けて）

午後の部（コンサート）

・パシフィックフィルハーモニア東京 弦楽四重奏
・小林剛史＆渡辺行野 フルートとピアノのDuo

第2回　イベント

タイトル：アートと人 つながる・つどう（第2回：2025年3月22日）
開催場所：ふじみ野ステラ・ウェストホール

プログラム構成

1.吹奏楽演奏（中学生＋プロ奏者＋三芳WO）
2.シンポジウム　「地域で共に育つ未来　～おとなとこどもが共に学びあることとは～」
　　地域教育・行政・施設運営側の視点から実践報告
3.文京学院100周年記念コンサート：ピアノ連弾／フルート＆ピアノDuo
4.合唱フィナーレ：100人で歌おう！　「群青」100人合唱

成果

- 文京学院大学学生の地域協働参加
- 幅広い年齢層の市民の交流と参加と意識向上
- 「ふじみ野モデル」：ステラ・ウェストを中心とした拠点化へ
- 音楽家・学生・市民が協働する持続可能な文化ネットワークの構築へ
- 「学び」「創造」「つながり」が循環する地域社会の実現へ
- 学校・地域・行政の協働による文化振興モデルの確立へ

音楽で
人づくり・まちづくり

経験から見えてきたこと…

地域音楽活動の好循環を創出

- 地域の音楽資源の発掘
- 多様な参加機会の創出
- 継続的な支援体制の構築
- 地域への還元と波及

組織づくり＜多様な関係者による運営委員会の設立＞

行政との連携＜自治体・教育委員会との協力体制構築＞

活動の実施＜音楽イベント・教育プログラムの展開／打ち合わせ＞

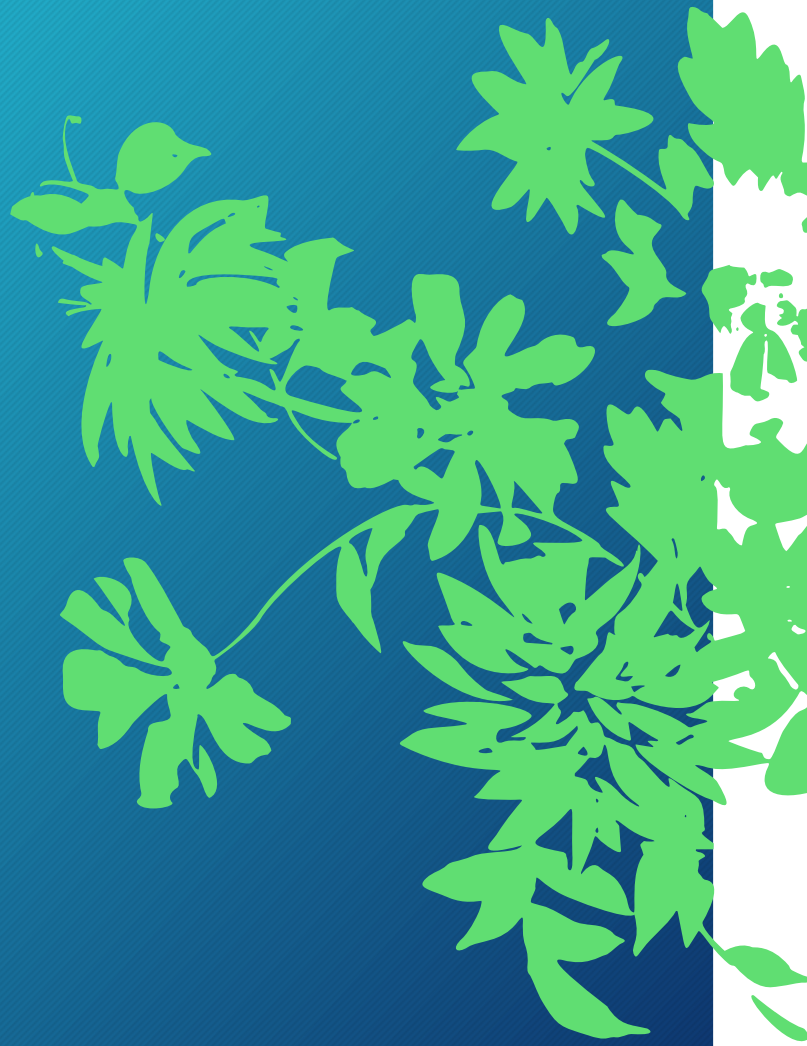
他分野への拡大＜参加者と支援者の輪を広げる継続的なやりとり＞

地域音楽コーディネーターに求められる能力

地域音楽活動の持続的発展のために

- 行政との連携
- 資金確保
- 人材育成
- 地域理解・支援
- 施設・場所の確保
- プログラムの質
- 広報・情報発信

地域音楽コーディネーターが
人と人をつなげる・拠点をむすぶ



文化・芸術による【人づくり・まちづくり】への寄与

【人づくり】

- 音楽活動を通じた個人の成長と能力開発　→地域の人材育成に不可欠
- 演奏技術だけではない！　→協調性、創造性、表現力など、生きる力を育む
- 多文化共生の場の提供　→世代間の相互理解と尊重の文化を醸成
- 音楽などの芸術　→言葉の壁を超えて心を通わせることができる普遍言語

【まちづくり】

- 文化芸術を活用　→地域の魅力向上・活性化
- 音楽イベント　→文化施設が地域の交流拠点となり、コミュニティの絆を強化
- 地域固有の音楽文化の発掘と発展　→地域アイデンティティの形成と発信に貢献
- 伝統と革新が融合した独自の文化的価値の創造　→地域の魅力向上による帰属意識

地域音楽コーディネーター：地域の活性化の鍵

地域音楽の役割

- 音楽を通じて人々を繋ぎ、地域の活性化を促進
- 地域全体の交流を深め、持続可能なコミュニティ作りを支える役割

市民参画の重要性

- 市民が音楽活動に参加することで、地域コミュニティの一体感が高まる
- 地域の文化的豊かさが向上
- 住みやすい環境が構築

地域音楽コーディネーターへの期待と展望

文化的架け橋

文化創造の触媒

持続可能な基盤構築

ご清聴ありがとうございました